

スイッチシリーズⅣ

専用機用 IDFS型 光電スイッチ



シリーズ最少の光軸ピッチ20mm

厚さ32mmの薄型設計

●主な特長

1. 変調光線ですので、外乱光等の影響を受けにくい機構です。
2. 完全同期分離スキャニング方式のため、耐ノイズ性も抜群です。
3. 薄型でコンパクトな構造ですので簡単に取り付けられ、作業の邪魔になりません。
4. 停電、断線時に即停止します。

●注意
労働安全衛生規則第131条に触れる機種には使用しないでください。

形式表示

1.セット形式

IDFS - 620 - L

シリーズ名

防護幅

機器分類記号

寸法図表C参照

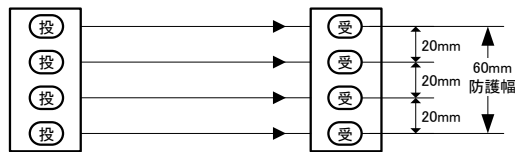
AK : 投・受光器、アンプ (S3D2-AK)
コネクタ付コードセット
O : 投・受光器、コネクタ付コード
セット
L : 投光器
R : 受光器

2.アンプ S3D2-AK : 出力1C

3.ケーブル IDBS-K7 : コネクタ付コード (コード7m)

投光器側、受光器側2本1セット

投・受光体動作説明(IDFS-60-L,R)



投・受光器

●仕様

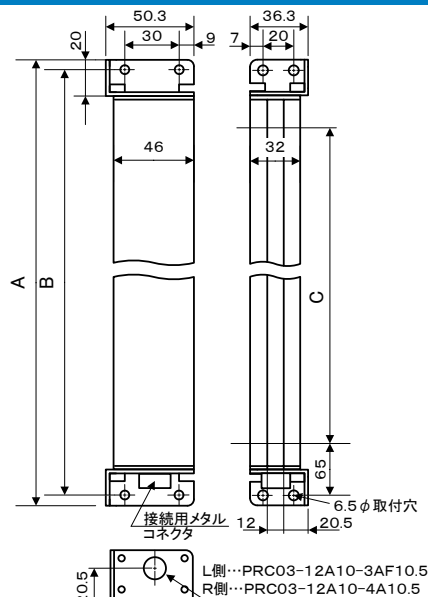
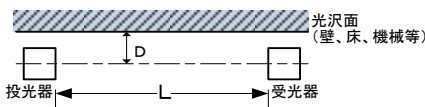
電源電圧	DC12V~24V±10%
消費電流	最大100mA以下(L・Rセット)
有効距離	0.1m~8m
光軸ピッチ	20mm
検出物体	不透明体
周囲温度	-10℃~+55℃
投受光出力方法	無接点出力
投光器外部配線	3芯 0.75mm ² 7m
受光器外部配線	4芯 0.75mm ² 7m
投受光器接続方法	メタルコネクタ

●投・受光器寸法図

型式	A	B	C
IDFS-60-L,R	165	150	60
IDFS-140-L,R	245	230	140
IDFS-220-L,R	325	310	220
IDFS-300-L,R	405	390	300
IDFS-460-L,R	565	550	460
IDFS-620-L,R	725	710	620

※C寸法は防護幅を示します。

(単位:mm)



L側...PRC03-12A10-3AF10.5
R側...PRC03-12A10-4A10.5

※投光器(L)・受光器(R)は同一寸法です。

●取付け時の注意点

光沢面反射の影響を受けないように、注意して設置してください。検出物体で遮光状態にならないことがあります。

	L	D
0.2~3m	200mm	
3~5m	300mm以上	

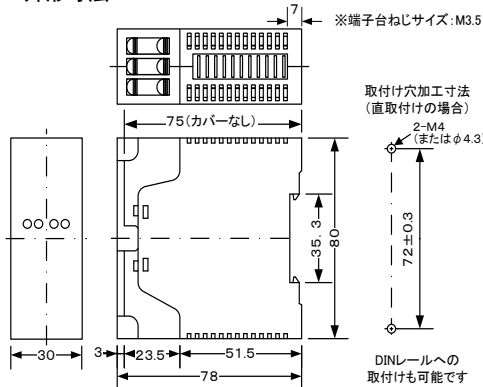
アンプユニット S3D2-AK

●仕様

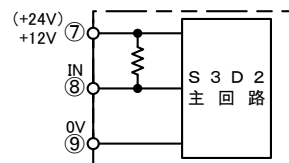
電源電圧	AC100~240V±10% 50/60Hz
消費電力	15VA以下 (センサ用電源は除く)
センサ用電源*1	DC12V±10% (全変動含む) 200mA Max (短絡保護付)
信号入力	NPN トランジスタ出力または有接点出力
入力応答時間	0.1ms
制御出力	リレー出力 1C AC250V 3A(COSφ=1) (内蔵リレー G6C-2114P-US)
出力応答時間	10ms以下
瞬時停電保証時間	20ms以下
使用周囲温度	-10℃~+55℃ (但し、氷結しないこと)

*1 センサ電源出力に200mA以上の負荷を接続しますと、故障の原因となります。

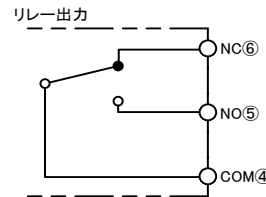
●外形寸法



◆入力回路

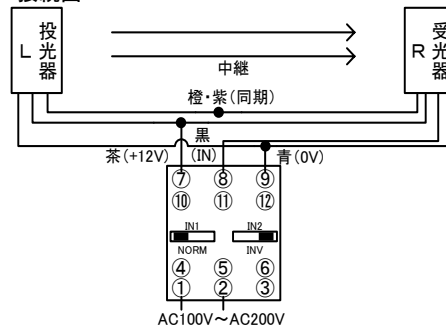


◆出力回路



接続

●接続図



◆接続・配線

- 接続図または貼りマークを参考にして正しい接続を行ってください。
- 空端子に他のリード線を接続しないでください。
- 配線の際、1次側、2次側線路の同一ダクト、同一配管は避けてください。

◆通電

- 配線上の誤りがないかチェックしてから通電してください。電源表示灯が点灯します。入力端子に信号が入ったときに動作表示灯が点灯する事、リレーが動作する事を確認してください。

- コントローラは何らかの保護機能をもっていますが、短絡状態で放置しないでください。故障の原因となります。

◆保守・点検

- ユニット交換は、必ず電源を切った状態で行ってください。
- 外乱光 (太陽光、車両のライト、パトライト) が直接当たるような場所では、受光器に光が入らないように対策を実施してください。

※姉妹品 IDBS型 (光軸ピッチ40mm平行光線式) ・IDNS型 (2光軸連続遮光式) も是非ご利用ください。

井上電子株式会社

http://www.inoden.com/

■本社

〒460-0025 愛知県名古屋市中区古渡町15番24号
TEL (052)331-1726(代) FAX(052)331-1720

■刈谷工場

〒448-0002 愛知県刈谷市一里山町東石根11番地
TEL (0566)36-2423(代) FAX (0566)36-0966

●仕様等は改良のため予告なしに変更することがあります。